

資料編

第3次鳥羽市観光基本計画策定委員会

委員名簿

所属	氏名(敬称略)
國學院大學 観光まちづくり学部 教授	委員長 梅川 智也
鳥羽市観光協会 会長	原田 佳代子
鳥羽市温泉振興会 会長	吉川 勝也
鳥羽商工会議所 専務理事	矢野 次男
鳥羽市旅館組合連絡協議会 会長	吉田 一喜
鳥羽市エコツーリズム推進協議会 会長	江崎 貴久
伊勢農業協同組合 常務理事	竹内 隆典
鳥羽磯部漁業協同組合 常務理事	濱口 利貴
伊勢志摩観光コンベンション機構 専務理事	須崎 充博
近畿日本鉄道株式会社鉄道本部 名古屋統括部運輸部 営業課長	岡本 晋輔
JR東海 東海鉄道事業本部 運輸営業部 営業課長	嶋崎 俊
三重交通株式会社伊勢営業所 所長	藤原 寛仁
鳥羽市 副市長	大野 源広

第3次鳥羽市観光基本計画策定委員会

開催記録

回	開催日時	主な協議事項
第1回	2025年 2月7日(金) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> • 第3次鳥羽市観光基本計画の策定について <ul style="list-style-type: none"> ✓ 現行計画の概要／第3次観光基本計画策定の体制とスケジュール • 第3次鳥羽市観光基本計画の骨子案について <ul style="list-style-type: none"> ✓ 鳥羽市の観光の現状と課題／第3次計画の骨子案 • 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ✓ テーマ①:あなたが思う「理想の観光地鳥羽」 ✓ テーマ②:計画の目標像について ✓ テーマ③:計画の戦略と主な施策案について
第2回	7月7日(月) 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> • 第3次鳥羽市観光基本計画の策定に向けて <ul style="list-style-type: none"> ✓ 第3次観光基本計画策定に向けた流れ／第2次観光基本計画の評価 • 第3次鳥羽市観光基本計画の検討 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画の目標像と基本方針(案)／計画に位置付ける戦略(案)／指標の考え方 • 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ✓ テーマ:第3次計画の目標像と施策の体系について
第3回	10月27日(月) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> • これまでの検討の経緯の振り返り • 第3次鳥羽市観光基本計画の素案について • 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ✓ テーマ:第3次鳥羽市観光基本計画(素案)について
第4回	2026年 2月27日(金) 15:00~17:00	<ul style="list-style-type: none"> • 第3次鳥羽市観光基本計画について <ul style="list-style-type: none"> ✓ パブリックコメント結果の報告／第3次観光基本計画の報告 • 前期アクションプログラムについて • 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ✓ テーマ:前期アクションプログラムについて

第3次鳥羽市観光基本計画策定部会

部会員名簿

所属	氏名(敬称略)
鳥羽市観光協会	野村 徳正
鳥羽市観光協会	世古 晃文
DMO鳥羽市観光協会	大村 佳之
鳥羽市温泉振興会	迫間 修平
鳥羽商工会議所	岩崎 織江
鳥羽市旅館組合連絡協議会	上村 領佑
鳥羽観光施設連合会	山本 半
NPO法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター	野口 あゆみ
島の旅社推進協議会	濱口 浩代
鳥羽市エコツーリズム推進協議会	谷口 優太
鳥羽市広告宣伝戦略委員会	野村 薫

所属	氏名(敬称略)
伊勢農業協同組合	村山 栄樹
鳥羽磯部漁業協同組合	久保田 正志
鳥羽市立海の博物館	石原 真伊
伊勢志摩観光コンベンション機構	川上 茂
鳥羽市農林水産課 水産研究所	岩尾 豊紀
近畿日本鉄道株式会社 鉄道本部 名古屋統括部運輸部	中山 欽司
JR東海 東海鉄道事業本部 運輸営業部 営業課	沖 健太
三重交通株式会社 伊勢営業所	清水 陽太

庁内各課

所属	氏名(敬称略)
農林水産課	榎 高広
環境課	中井 理江
企画財政課	木下 大輔
定期船課	西根 さつき

所属	氏名(敬称略)
建設課	重見 昌利
総務課	澤田 将宏
教育委員会生涯学習課	豊田 祥三

第3次鳥羽市観光基本計画策定部会

開催記録

回	開催日時	主な協議事項
第1回	2024年 10月7日(月) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3次鳥羽市観光基本計画の策定について ・ 鳥羽市の観光振興の将来像について ・ 意見交換(グループ別のワークショップ形式) <ul style="list-style-type: none"> ✓ テーマ①:「理想の観光地鳥羽」の実現のための取り組み ✓ テーマ②:第3次観光基本計画の柱
第2回	2025年 6月20日(金) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画策定に向けた流れ、これまでの検討状況の振り返り ・ 第2次計画に基づく取り組み状況、現状と課題 ・ 第3次計画の位置づけ、目標像と戦略(案) ・ 意見交換(グループ別のワークショップ形式) <ul style="list-style-type: none"> ✓ テーマ:第3次観光基本計画で取り組む(特に重視すべき)施策
第3回	8月20日(水) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3次鳥羽市観光基本計画の策定について <ul style="list-style-type: none"> ✓ これまでの策定委員会、策定部会での主な意見/第3次観光基本計画の目標像と基本方針(案)/第3次観光基本計画の戦略と施策(案) ・ 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ✓ テーマ①:第3次計画の目標像・方針・戦略について(確認) ✓ テーマ②:第3次計画で取り組むべき施策・具体的な事業
第4回	2026年 1月29日(木) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3次鳥羽市観光基本計画について <ul style="list-style-type: none"> ✓ パブリックコメント結果の報告/第3次観光基本計画最終案 ・ 前期アクションプログラム策定について <ul style="list-style-type: none"> ✓ 前期APの位置づけ/各団体が実施予定の取組みと前期APのプロジェクト(案)/計画の推進体制 ・ 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ✓ テーマ①:前期アクションプログラムに位置付ける戦略・プロジェクトについて ✓ テーマ②:計画の推進体制について

第2次観光基本計画の評価

各期アクションプログラムの評価(各期のAPの戦略を類似テーマで並び替え)

※各期の評価手法が異なるため、点数の推移は比較不可

	前期 (2016-18)		中期 (2019-21)		後期 (2022-25)	
	戦略	評価	戦略	評価	戦略	評価
鳥羽うみ文化の創出	①鳥羽うみ文化ネットワーク会議	2.6	①「鳥羽うみ文化」の構築と創出	2.8	①「鳥羽うみ文化」の具現化	3.3
芸術・文化の活用	③芸術・文化を活かした観光振興	2.3	④「鳥羽うみアート」の推進	2.7	②インバウンドの受入推進と多様化する旅行者の受入環境整備	
インバウンド・多様な旅行者の受け入れ	④インバウンドの受入推進	2.3	②インバウンドの受入推進	2.7		
漁観連携	②漁業と観光の連携	2.5	③漁業と観光の連携	3.3	③漁観連携の次のステージの展開	3.2
自然環境保護	⑤中心市街地の賑わい創出		⑤中心市街地の賑わい創出		④鳥羽の恵まれた自然環境を次世代に残すための取り組み推進	2.9
賑わい創出・景観整備					⑤世界に誇れる海洋地域にふさわしい景観整備	2.3
島旅・学びの旅の推進	⑥新たな島旅の推進	3.0	⑥新たな島旅の推進	2.7	⑥鳥羽ならではの「島旅」と「学びの旅」の推進	3.1
宿泊産業の活性化	⑦宿泊施設の魅力アップと防災対策	2.8	⑦宿泊施設の魅力アップと観光危機管理	2.8	⑦宿泊(観光)産業活性化(生産性向上と所得向上)	3.1
推進体制の構築	⑧推進体制の構築	2.6	⑧推進体制の構築	2.2	⑧観光推進基盤の整備	2.8

評価の塗りは、各期の評価の平均点に対し

■ +0.3ポイント以上

■ +0.1ポイント以上

■ -0.1ポイント以下

■ -0.3ポイント以下

第2次観光基本計画の評価

成果指標の検証

指標	計画策定時 (2014年時点)	2017年に設定 した2020年 の目標値	後期AP策定時 (2019年時点) ※市民意識調査のみ 2020年度時点	目標値 (2025(R7)年度)	実績値	
					2024(R6)年度	備考
延べ宿泊者数	172万泊	197万人泊	169万人泊	197万人泊 (第六次鳥羽市総合計画前期 基本計画)	160.4万人泊	
—日本人(人泊)／比率(%)	171万人泊 (99.7%)	185万人泊 (94.0%)	164万人泊 (97.0%)	185万人泊(94.0%)	156.2万人泊 (97.4%)	
—外国人(人泊)／比率(%)	4,600人泊 (0.3%)	120,000人泊 (6.0%)	51,057人泊 (3.0%)	120,000人泊 (6.0%)	42,354人泊 (2.6%)	
外国人入込客数(人)	32,000人	192,000人	123,113人	192,000人 (第六次鳥羽市総合計画前期 基本計画)	92,772人	
観光消費額 ※中期AP策定時に新規追加	数値なし	716億円	684億円 ※H30の単価で算出	716億円	827億円	達成
経済波及効果 ※中期AP策定時に新規追加	数値なし	966億円		966億円	—	データなし
観光客満足度	12.5%	25.0%	数値なし	25.0%	—	データなし
仕事の満足度	数値なし	—	数値なし	データ取得後に設定	—	データなし
仕事の承継意向	数値なし	—	数値なし	データ取得後に設定	—	データなし
市民の定住意向 ※市民意識調査	52.8% (「ずっと住んでいたい」)	—	56.2% (「ずっと住んでいたい」)	60%	23.40%	R6年度以降の回答はフォームのみ、若年層の回答割合が増加
市民のおもてなしの意識 ※市民意識調査	4.16 (おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する)	—	4.20 (おもてなしの心を育み、鳥羽の魅力を発信する)	全体の平均点以上	—	R3年度以降、選択肢変更
市民の自然環境への意識 ※市民意識調査	4.47 (伊勢湾の豊かな海洋資源を守る)	—	4.51 (伊勢湾の豊かな海洋資源を守る)	4.60	3.40	R3年度以降の、選択肢変更

検討の経過

●「あなたが思う理想の観光地鳥羽」

2024年度第2回観光戦略会議(2024年7月8日(月)開催)の記録

観光振興の理念・テーマに関する意見

- 鳥羽は観光資源に恵まれているが故にひとつに定まっておらず、観光客からの鳥羽のイメージが「これ」と強い印象がない。観光地「鳥羽」が再度注目されるため、**何かに絞って「鳥羽」イコール「〇〇」とイメージできるもの**が必要。一言でストーリーを語るができるもの。
- 人口減少に伴う**コンパクトシティと観光の両立**。
- **SDGsの取り組み**がしっかりしたまち。
- 消費型の**観光施設に頼らない楽しみ**が沢山ある観光地。
- **観光にも災害にも全国一強い地方都市**とする安心安全な町。

伊勢志摩エリアの中核を担う観光地

- 伊勢と志摩から鳥羽へ遊びにくる地域。
- 陸、海、空の玄関口として交通のハブ的な機能。
- 伊勢志摩旅行の途中や帰りに鳥羽に寄っていく仕組みや賑わいづくり。
- お伊勢参りする人の宿泊地としての鳥羽だったが、今や伊勢にも宿泊施設が建ち始めている。**また来なくなる観光地としてあり方を今一度見直していく必要がある。**

水産業(第1次産業)の振興

- 鳥羽のテーマは**一次産業**。一次産業が潤わないとまちも潤わない。鳥羽水族館もかつては生け簀をやっていた。歴史や一次産業から観光業への循環の流れを鳥羽駅などで紹介できると良い。
- 佐田浜エリアに「海の駅」のようなイメージで「食」のテーマパークのような施設、**漁協の集約市場が整備**できれば、観光客が気軽に水揚げの現場を見学し、そのまま食事や海産物の購入に繋がるような仕組みを確立する。そうすれば鳥羽駅前(鳥羽の玄関口)での水産物の提供・PRができる。
- **海があることに外から来る人は感動**する。食(海の幸)の魅力と合わせて**海、自然の魅力**を再認識できるものがあると良い。
- **水産業の復興が、鳥羽の観光の発展**につながる。海女や漁師さんがとるものは観光業の売りとなり、それを地元で消費し、また商品化することで循環させる。**旬には旬のものを食すことのできる季節感を感じる町**。
- 観光客が鳥羽に求めているのはやはり**海の幸**。

自然環境を保護し、活かす

- **一次産業の根底として鳥羽の自然**がある。単に海辺を歩くだけ、貝殻や海藻を拾うだけでも、**十分な観光資源**であり、刺激と感動を提供できる。
- 鳥羽駅から水族館にかけてせっかく**目の前に海が広がっているのにもったいない**。それを活かせる・楽しんでもらうアプローチ、演出、導線を。
- 専門知識を持ったガイドやツールが備わった、レベル別、ジャンル別の**エコツアー**。
- 菅島の南側などで**エクストリームスポーツや、トレイルランなどの開催**。大きな何かを作らなくても**コツコツとした取り組みでも満足度やリピーター**につながる。

鳥羽城・九鬼水軍の歴史を活かす

- **鳥羽城跡、九鬼嘉隆**をテーマとして地域全体でのイメージ作りと戦略を。堀跡の復元と明慶川でまちなみを整備し**宿泊客が浴衣でそぞろ歩き**。

市民と観光客が共存共栄するまち、観光関係の雇用の充実

- **観光客と住民が共存、共有、共助**できる地域として交流人口を増やす。鳥羽市民が減少してもいざというとき観光客にも助けてもらえるよう**観光客が多い地域の意識**をうまく使う。
- 地域おこし協力隊が住み続ける。
- 答志島の「ねやこや」のような**学生と地域の集いの場**が各町にあり、学生団体や若者を中心に運営・ネットワーク化することで鳥羽の新たな地域密着型情報発信の拠点となっている。
- **観光関係の仕事が幅広く**あり、観光関係の起業が多くある。県内で最も自由に稼ぐことができるまち。
- 移住者がすぐに住める施設が増え、若者でも馴染みやすいまちとなり、人手不足の解消、より良いサービスの提供、様々な企業の売上増加。**鳥羽市全体の高付加価値化**につながり観光客や市民、従業員等の**全ての人の満足度向上**。

検討の経過

●「あなたが思う理想の観光地鳥羽」(つづき)

鳥羽駅周辺の拠点整備、中心市街地の賑わいづくり

- 観光客が鳥羽駅に降り立った際に誰もが感じる「昔は賑やかだったであろう観光地」という過去形イメージを変えるため、**鳥羽駅前～佐田浜エリアの再開発**。
 - ホテル・旅館が点在しているため、**泊食分離**として、夜間も無料の市内巡回シャトルバスを頻繁に運行するなど、**飲食店の多い岩崎通りや佐田浜エリア(再開発完了後)とつながる仕組み**づくり。
 - 鳥羽観光の主目的地となることが多い鳥羽水族館周辺は自動車利用者も電車利用者も店が少なく機会損失が大きい。水族館のリニューアルに合わせて**水族館のみの観光で終わらせない動線整備、仕組み**を確立。
 - **住みたくなる街として**、海が見えて、人が集いitくなる、子連れも遊べて、のんびりできて、行けば誰かいる**公園がほしい**。
 - 鳥羽駅周辺の観光資源・施設の**周遊性を高める工夫や定番ルート**づくり。
 - 市街地エリアの空き店舗や空き家を改修し、**城下町としての復元、賑わいづくり**。
 - 夜間の道路が明るくなり、**昔ながらの観光施設・旅館街のイメージから脱却**。Z世代やミレニウム世代、またペット連れの観光客も気軽に訪れられる。
 - **泊食分離として朝食もニーズがある**ので朝市やマルシェなどで地元の食事を提供。
 - **夜間の市内交通網が充実**、気軽に市街地の飲食店へアクセスでき、泊食分離が実現し**宿泊施設や飲食店が共に賑わう**。新たな鳥羽市としての「食・酒・宿泊」の発展。
- 【佐田浜エリア再開発施設のイメージ】
- **市場とマルシェを一体化**、駐車場を立体化し2階をカフェやショップ、堤防沿いを**親水性のあるショッピング街**に。過疎化の進む地区の住民を優先的に入店させコンパクトシティ化を図る。
 - 観光客だけでなく市民が集え、市内外企業の**出店希望が絶えない鳥羽のハブ施設**。鳥羽駅周辺の再開発が進み新たな雇用が生まれ、人口が増加している。
 - 鳥羽駅前や国道沿いにチェーン店やコンビニ等の誘致がされ、観光客が馴染みやすく、ちょっとした忘れ物や簡易的な食事でもでき、かつ、**住民も駅前周辺に自然と集まる**様になり、街の中心部として栄えてほしい。

移動手段・2次交通の充実

- 南鳥羽全体を周遊できるような**便利な二次交通、かもめバスの充実**。
- 宿泊客の**送迎バスの充実**。
- 点在する宿泊施設から中心市街地へ**市内巡回シャトルバス**。

宿泊施設の充実

- 様々なニーズや多様な観光客に対応できる**幅広い宿泊施設**(料金、人数、施設タイプ、バリアフリー、ペット連れなど)
- テントサイトを含む**多様な宿泊形態**。
- **滞在型宿泊プラン**による安定した宿泊者の獲得。
- **地域福祉や空家対策と連携**した古民家等の宿泊施設としての利活用。

イベントによる集客

- 毎日・毎晩**決まった時間と場所で開催される夜のイベント**による若者などの集客。

リピーター・長期滞在客等の獲得

- **リピーターにとって一番の人気は食**。年中、旬の水産物があるのは強みで、何回来ても鳥羽は飽きないだろう。
- リピーターが若い世代にうまく引き継がれていない印象がある。**幅広く若者を呼び込むための手段と方法**を。
- 古民家に泊まるニーズなどに応え、**多様な宿泊形態を提供し、長期滞在**したくなるまちづくり。
- 長期休みに子供が祖父母宅で過ごす体験の様な、**ショートステイ的な離島留学**の受け入れ。

おもてなしの充実

- **サービス精神旺盛な人づくり**、そんな人たちがあふれる町。建物が老朽化しようが、不便であろうが、もてなす気持ちがあればカバーできる。

観光施設整備のための積極的な投資

- 地域の文化・歴史などに配慮した開発。**観光投資が官民双方で積極的**になされている。

検討の経過

●「理想の観光地鳥羽」の実現のための取り組み

第1回策定部会(2024年10月7日(月)開催)ワークショップの記録

鳥羽の核をつくる

- 列車バスを降りた後の第一印象の強化
- 鳥羽駅周辺、駅舎の再整備、施設の充実、にぎわい創出
- 親水公園、自然を感じる遊歩道
- 鳥羽駅周辺の夜間の賑わい
- 道路整備、景観・ハード整備
- まちあるきの促進

まちづくりの全体的なテーマ・ブランディング・コンセプト

鳥羽といえば!! 鳥羽って? 鳥羽物語 観光×〇〇

- 鳥羽といえばコレ! という要素、イメージの確立
- 五感で楽しむ町
- 長所を伸ばし短所を改善
- 歴史・文化・祭を大事にしつつ新しいコンテンツの取り入れ
- 南東地域の各集落のブランド化

漁観連携の取り組みの推進

- 生産するまち
- 漁業と観光の順番

シン優しさ

- 多様な観光客の受け入れ
- マイノリティに優しい観光地
- 鳥羽駅(JR側)のバリアフリー化
- アクティビティのバリアフリー化
- 外国人が不自由なく観光できる
- 小さなこどもも楽しめる
- 人と人とのつながり

コンパクト鳥羽 多様で困らない魅力的な移動手段

- 鳥羽に着いてから困らない動線
- 市内の循環バスやホテル送迎バスなど交通ネットワークの充実
- 交通手段そのものが観光、魅力の1つに
- サイクリング、シェアモビリティ

魅力づくり・観光資源

鳥羽うみ文化

- 海女文化
- 海の幸
- 自然とともに生きる
- 鳥羽と言えば「海」が今も昔も魅力

歴史文化

- 鳥羽城と九鬼水軍
- 菅島灯台、神島と潮騒、乱歩と坂手
- ノスタルジックと活気あふれる場所のメリハリ

コンテンツ

- 時間をかけずに楽しめるコンテンツ
- 眠っているコンテンツの発掘
- 体験施設、プランの充実

観光客と地元住民が共生できる観光地 誇りをもって働く産業

- 働きたくなる、住みたくなる、働き方や住まいの整備
- 住んでよし、訪れてよし、働いてよし
- まず住んでいる市民が感じることに
- 海女が働く環境整備

災害に強い安心・安全な鳥羽

- 観光防災
- 災害に強い居住・都市施設
- 鳥羽駅周辺の高台整備

「食」の発信

- 何でもおいしい鳥羽
- 食べ歩きできる空間の創出
- まちなかで食が楽しめる場所の整備
- 鳥羽駅から直接行けるマルシェ、市場、海女小屋
- 地場製品の域内消費、ブランド化

自然とともに生きる

- 自然の変化:食材や景色の背景
- 「宿」「離島」「山」「海」四季折々の魅力
- 海だけでなく山もある

おしゃれなまち

- 古さを「古くささ」にしない
- 過去の良かった頃の復活ではなく新たな観光のゴールへ
- 若い世代も取り込む魅力

高付加価値化

- 全体的な高付加価値化により底上げ、人材確保につなげる

環境変化・気候変動への対応

- 脱プラスチック
- 省エネ

ターゲット インバウンド受け入れ

- ターゲットの明確化
- エリアごとのターゲット・目玉
- 国際観光文化都市としての在り方、インバウンドの受け入れ

情報発信

- 何ができるか事前に確認できる
- タビナカでのPR強化
- 下調べしなくても楽しめる観光地
- 地域の魅力を伝えるガイド育成

夜のたのしみ

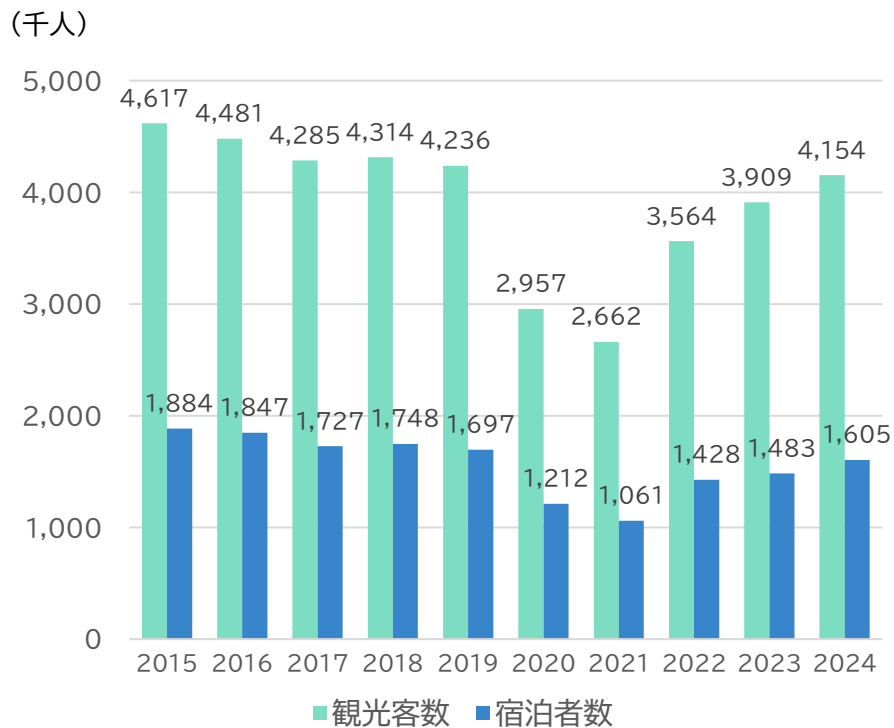
- まちなかの飲食店(屋台村)
- 泊食分離の推進
- ナイトアクティビティ

伊勢志摩広域の連携

- 広域プロモーションで誘客
- 伊瀬神宮とのつながり(文化・アクセス)
- 鳥羽、伊勢神宮のストーリー“恵み”

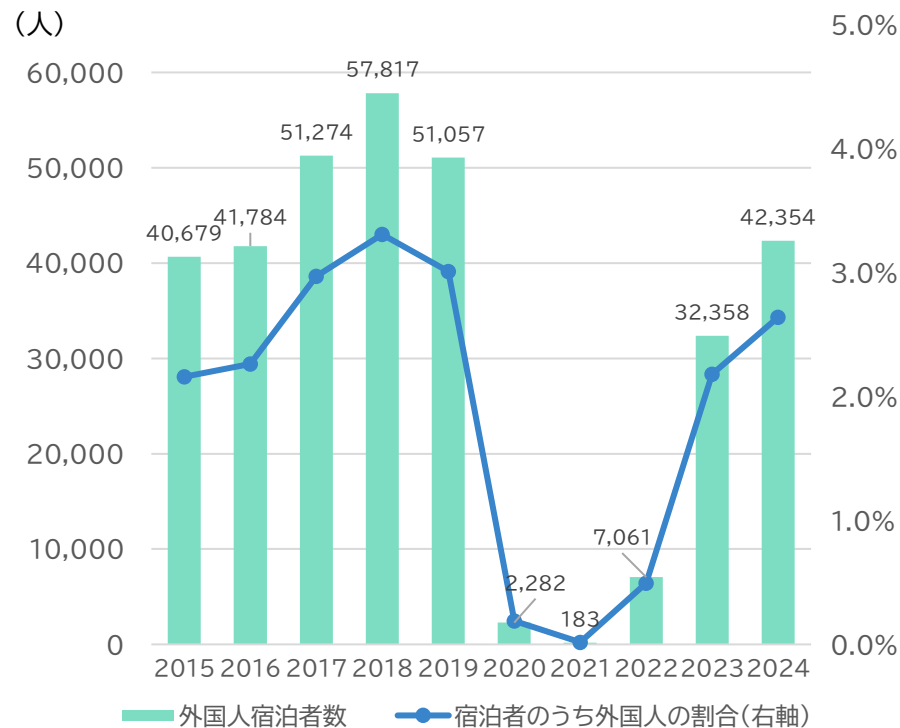
観光客の動向

観光客数の推移



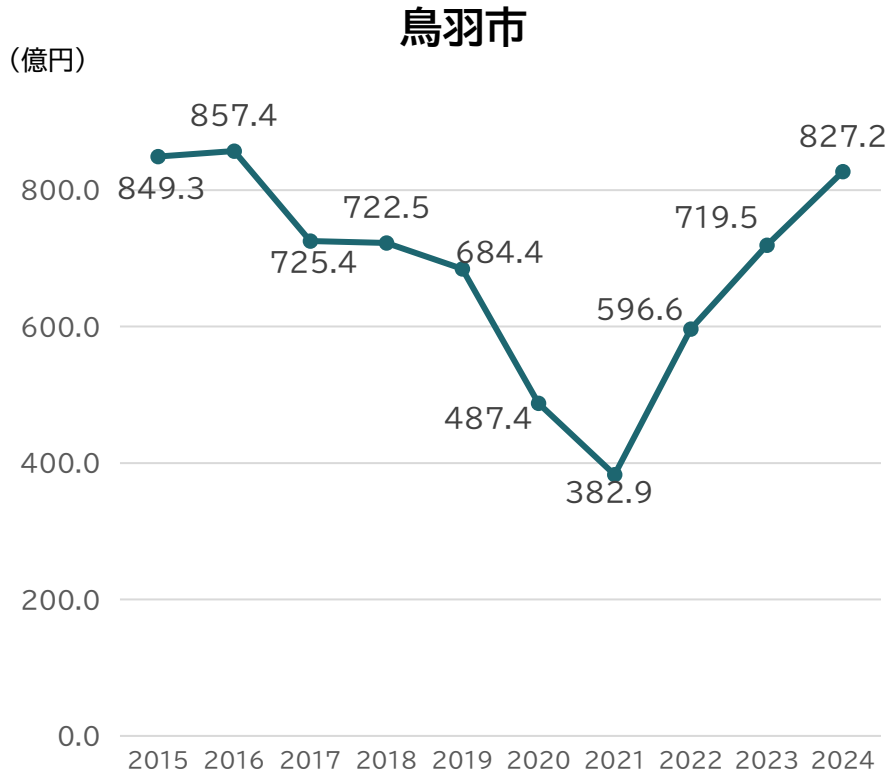
出典:鳥羽市観光統計(各年)

外国人宿泊客の動向

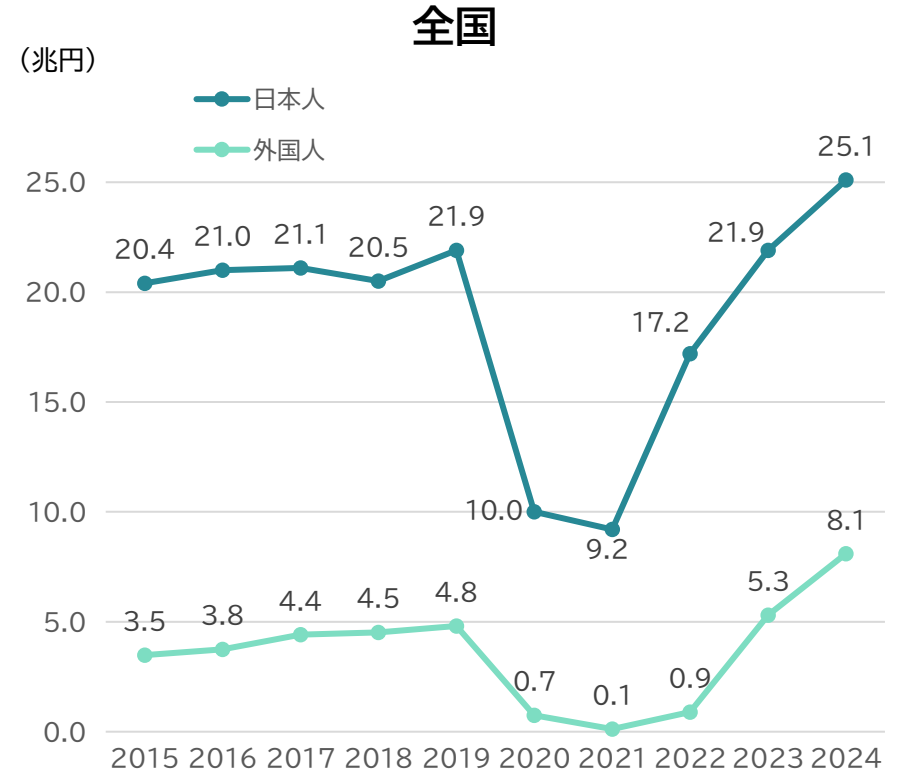


出典:鳥羽市観光統計(各年)

観光消費額の推移



出典:鳥羽市観光統計(各年)

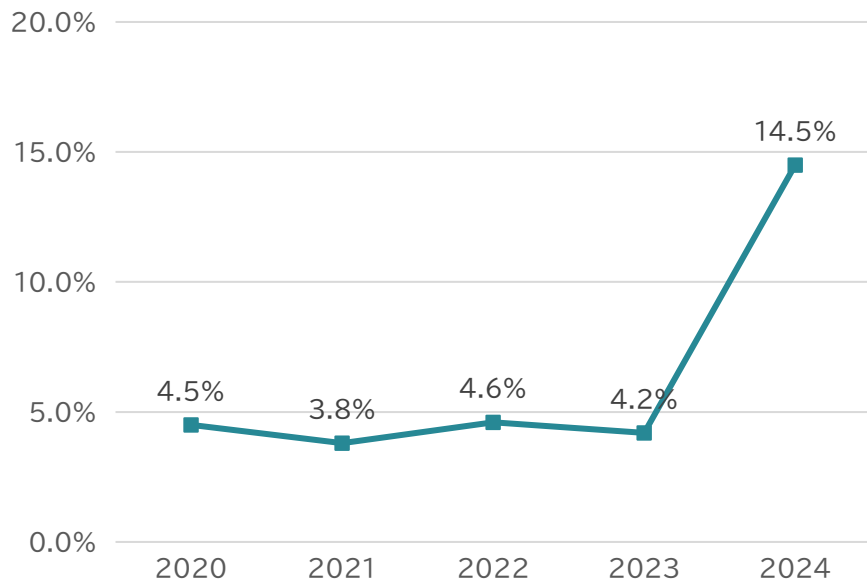


出典:観光庁「旅行・観光消費動向調査」、「インバウンド消費動向調査」

市民アンケート調査結果の推移

観光の重要度

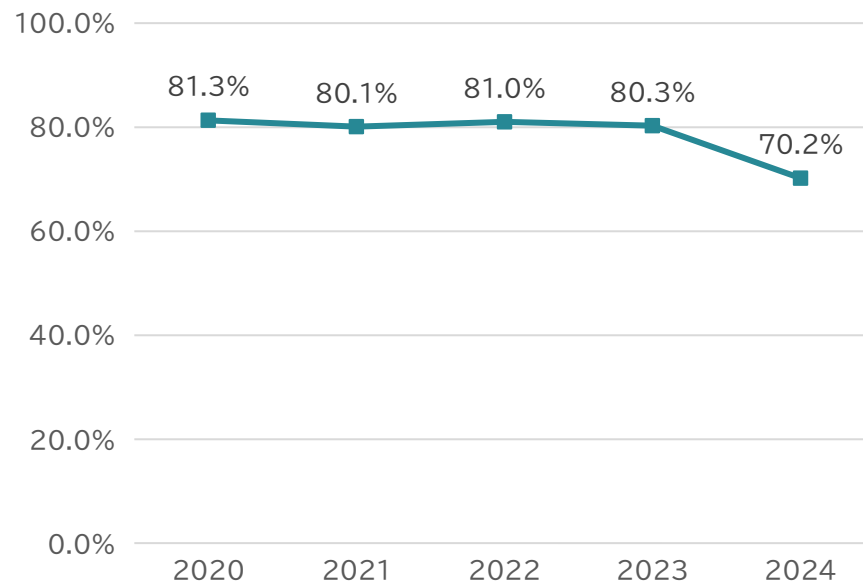
力を入れてほしいまちづくり分野のうち「観光交流」の回答割合



出典：鳥羽市市民アンケート(各年)

定住意向

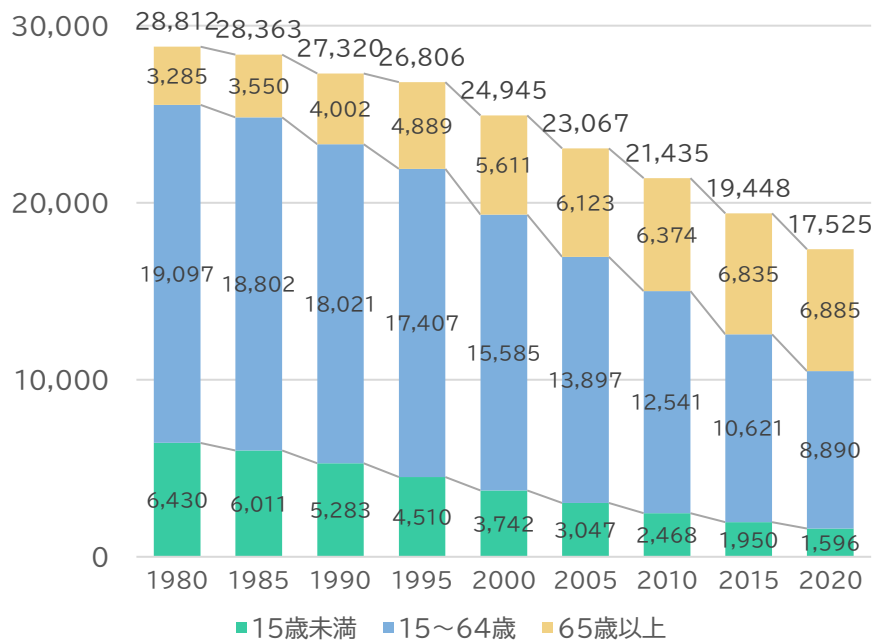
「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもり」の合計



出典：鳥羽市市民アンケート(各年)

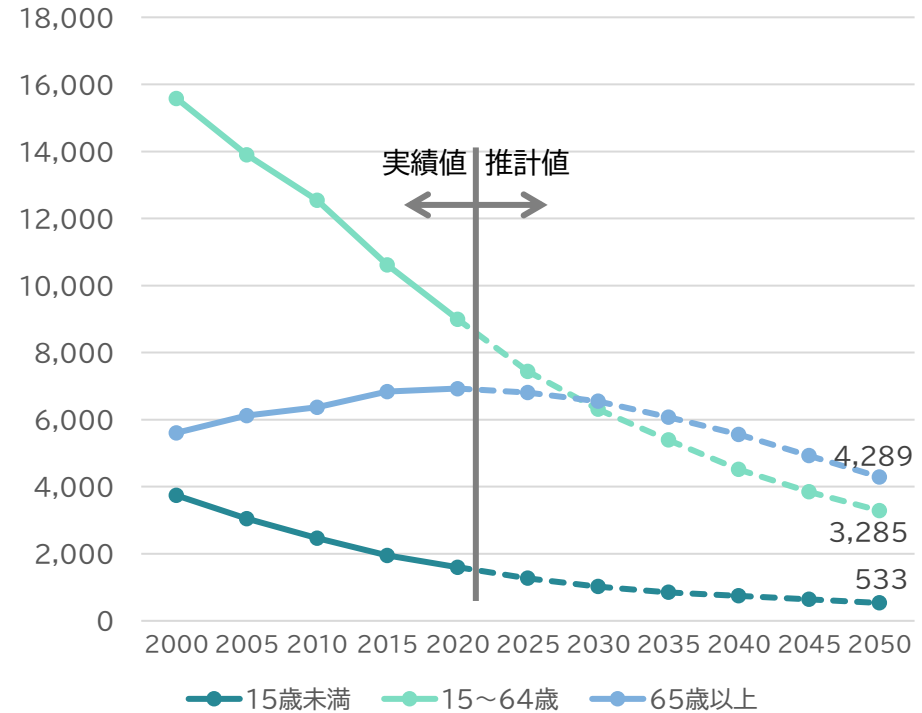
人口動態

人口の推移



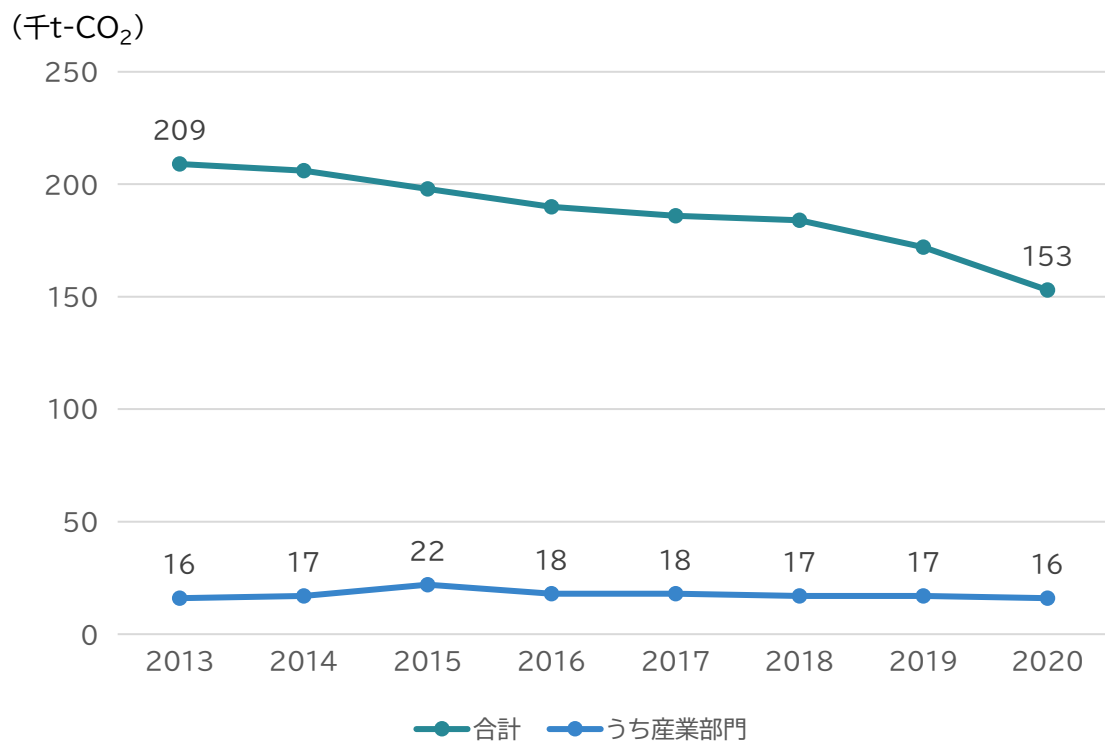
出典:国勢調査(各年)

将来人口予測



出典:【実績値】国勢調査(各年)
【推計値】国立社会保障・人口問題研究所
「日本の将来推計人口(令和5年推計)」

温室効果ガス排出量の推移



出典:鳥羽市ゼロカーボンシティ推進計画

宿泊税の導入について

● 目的

観光資源の魅力向上、旅行者の受入環境の充実その他の市民生活と調和した持続可能な観光まちづくりの施策に要する費用に充てることを目的としています。

● 導入の経緯等

2024年8～12月	宿泊税検討委員会開催
2025年3月24日	鳥羽市議会にて条例案可決
2025年4月9日	総務大臣協議
2025年7月22日	総務大臣同意
2026年4月1日	条例施行

● 税制度の概要

項目	要件
課税客体	鳥羽市内に所在する宿泊施設への宿泊行為
課税標準	宿泊施設への宿泊数
納税義務者	宿泊施設への宿泊者
徴収方法	特別徴収 (特別徴収義務者が宿泊者から徴収し、納付)
特別徴収義務者	旅館業法、住宅宿泊事業法に規定する事業者
申告期限	毎月末までに、前月の初日から末日分を申告納付
税額(税率)	定額制 1人1泊当たり200円
免税点	免税点は設けない
課税免除	課税免除は設けない
罰則規定	帳簿等の隠蔽、保存義務を怠った場合1年以下の懲役又は50万円以下の罰金
見直し期間	原則5年ごとに見直し (社会情勢等の変化により問題が生じた場合は、直ちに見直しを検討)
特別奨励金	期限内申告・納付額の2.5%

宿泊税の導入について

用途の想定(宿泊税検討委員会報告書より)

	想定される主な事業	ポイント
① 宿泊促進	【宿泊客誘致のため事業支援】 旅館組合単位で行っている事業への支援拡大 観光施設や飲食店等との連携による長期滞在や満足度向上に関する事業への支援	既存の入湯税を財源とした事業の見直し、拡充を行い、宿泊者の誘客や満足度向上につながる事業の検討が必要
	【宿泊事業者の受入環境充実支援】 バリアフリー対応支援のほか、デジタル化など受入れ環境の充実や生産性向上に向けた取り組みへの支援	
	【教育旅行の推進】 次世代を担う若者世代の誘客促進につながる支援	
	【二次交通支援】 定期船、かもめバス及びその他二次交通の充実	
② 受け入れ体制の強化 観光インフラの整備	【観光まちづくりの整備】 魅力ある観光まちづくり整備に関する事業	まちづくりや公共交通、観光防災など大きな予算を伴う事業が想定される
	【観光案内整備、多言語対応体制の整備】 インバウンドに対応した観光案内やデジタル化の推進、周遊促進に関する事業	
	【雇用・労務環境改善の支援】 人材確保や職場環境向上に関する事業	
	【自然体験施設等の整備】 展望台や自然歩道等の適正な維持管理	
③ 伊勢志摩国立公園ならではの景観や地域資源等の保全活用	【良好な景観形成の推進】 次世代に継承する景観づくりのための整備と景観資源の保全活用	自然環境や地域資源が観光の魅力の基本であるため、自然や地域への好影響を与える仕組みづくりが必要
	【体験コンテンツの充実】 インバウンド対応や長期滞在及び周遊促進につながる体験コンテンツの充実や造成	
	【地域資源の保護】 豊かな自然資源や海洋資源の保全に関する事業	
	【新たな鳥羽ならではの商品開発】 鳥羽の地域資源を活かした商品開発の推進	
④ 観光関連団体組織強化	【DMO組織強化や事業支援】 DMOへの専門人材の活用やDMOが実施する事業への支援 【観光統計やマーケティングの充実】 精度の高い観光統計の導入やデータ活用	用途の柱①～③をふまえ、観光関連団体だからこそその強みを活かした事業の見直しと展開が必要
	【観光関連団体組織強化や事業支援】 宿泊促進や観光客の満足度向上につながる事業への支援や市からの事業委託	
その他	【事務経費及び情報発信】 宿泊税の用途周知等	用途の見える化 中長期的な用途をふまえ、積み立ての検討必要
	【賦課徴収にかかる経費】 特別徴収義務者奨励金、宿泊施設システム補助等	
	【中長期的な視点で積み立て】 観光まちづくりや突発的なリスク等への対応	

第3次鳥羽市観光基本計画

令和8年3月

発行者 鳥羽市
〒517-0011
三重県鳥羽市鳥羽三丁目1番1号
TEL 0599-25-1155（観光商工課）

編集 鳥羽市観光商工課